

栄養サポート

栄養状態の把握と改善は、すべての疾患の治療における基礎となるものです。低栄養のままでは、各疾患は治りにくく、感染症などの合併症を起こしやすいことが言われていて、結果として入院期間が延長することが示されています。

具体的には、基本的な栄養の評価を行い、各疾患に特異的な問題点を見出して、栄養面での改善を目指します。

NST (Nutrition Support Team) : 栄養サポートチーム

1970年代にアメリカで医療に携わるいろんな職種の人達が参加して、栄養管理のためのチーム作りが始められました。現在では世界中に広がっており、我が国でも多くの病院でNSTが活動を行っています。

NSTでは患者の栄養状態の評価を行い、個々の患者さんが抱える問題について最良の解決策について各部門から意見を出し合い、議論しています。

NST (栄養サポートチーム) の紹介

副院長

兼救急医療室部長 山本正之

当院でも日本静脈経腸栄養学会の認定施設として、医師、看護師、薬剤師、栄養士、衛生士などが参加して、おもには低栄養の患者についてその原因を探り、解決策を病棟、主治医へ還元しています。

具体的には、週1回の病棟回診を行い、栄養摂取法の提言（PEGを含めた経腸栄養法、中心静脈栄養の適応の是非など）を行ったり、高齢者における嚥下障害の評価と嚥下訓練の指導や、術前術後の患者さんの口腔ケアを行っています。